

国土交通大臣政務官

鳩山 二郎 様

# 国の施策等に関する 提案・要望書

(令和2年11月)

鳥取県自治体代表者会議  
鳥取県地方分権推進連盟

鳥取県知事	平井伸治
鳥取県議会議長	藤縄喜和
鳥取県市長会長	深澤義彦
鳥取県市議会議長会長	森岡俊夫
鳥取県町村会長	宮脇正道
鳥取県町村議会議長会長	小椋正和

## 新型コロナウイルス感染拡大により甚大な影響を受けている 地域交通事業者への支援強化等について

### 《提案・要望の内容》

○将来にわたり地域住民の移動手段を確保するため、新たな経営支援策（赤字や減収の補填）の実施など、交通政策基本法の理念も踏まえ、国の責任において地域交通事業者等に対する強力な支援措置を講じるとともに、既存補助事業の概算払い、要件緩和や補助対象経常費用の上限引上げなどを早急に見直すこと。

バス・タクシー・第三セクター鉄道などの地域交通事業者は、従来からの厳しい経営状況に加え、今回のコロナ禍による移動自粛の長期化等により利用者が減少し収入が大幅に減少している状況にあっても運行や運営を継続する必要があることから、その経営は危機的状況に陥っており、この先も利用者の大幅な回復が見込めない状況。

○キャッシュレス決済において、交通系ICカードは利便性の観点から群を抜いており、その利用の可否が地域間格差を拡大させることがないよう、空白地域に手厚い支援を行うこと。

### 〔参考〕

#### ■新型コロナウイルス感染症の各事業者経営への影響（対前年同月比）

- ・バス事業者（9月） 収入状況：路線バス▲30～40%、高速バス▲80%、貸切バス▲70%
- ・タクシー事業者（9月） 収益状況：▲35%
- ・第三セクター鉄道（9月） 旅客輸送人数：普通▲20%、特急▲60%

※11月以降はさらに厳しい状況と予測している。

【事業者の声】 県内のバス事業者からは、「このままの利用状況が続けば、来年度は会社がなくなっているかもしれない。」「ポストコロナの新たな取組も必要と認識しているが、まずは、事業者への真水の資金手当てなど、会社の存続のことをしっかりと考えてほしい。」といった発言も出ている。

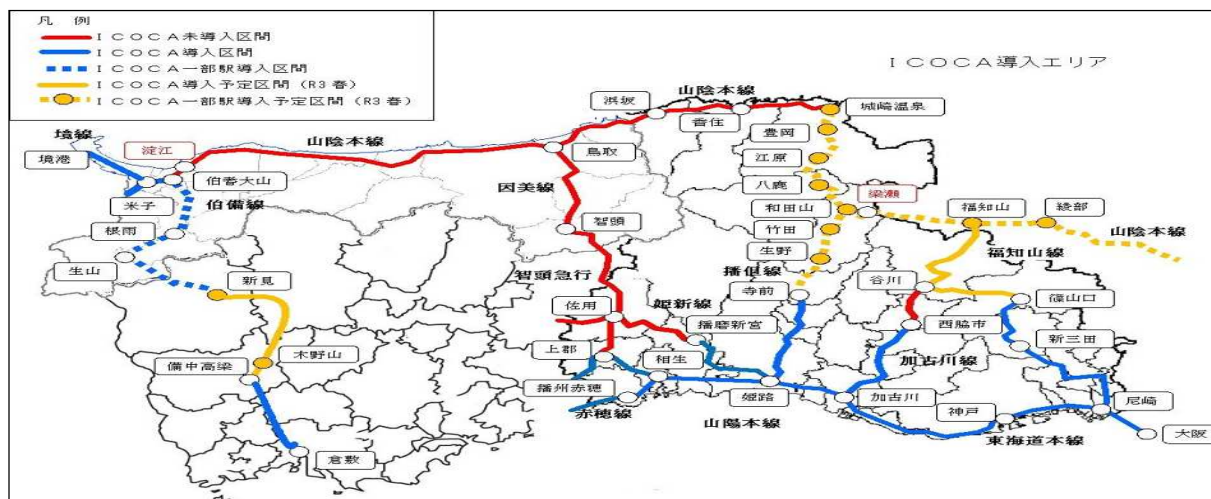
#### 【国による支援：【国2次補正】地域公共交通における感染拡大防止対策（138億円）】

車両等の衛生環境整備や、密度を上げない実証運行に要する費用に対する支援のうち、バス事業者の実証運行支援は、要望の1/3～1/4程度の支援に留まっている。

#### 【鳥取県による緊急支援：【鳥取県9月補正】路線バス事業者への緊急応援事業（1億円）】

雇用を維持し、乗務員への新型コロナウイルス蔓延を予防するための特別な体制を組みながら路線バスの維持・運行を続けている事業者に対して、市町村と協調してかかり増しとなっている経費に対して緊急支援を行っている。

#### ■キャッシュレス決済について（JR西日本ICOCA（本県に関係する路線）の利用可能区域）



※導入・ランニングコストの問題もあり、西部地域の一部路線にのみ導入され、東部・中部地域は未導入。また、路線バスでは、鳥取市循環バスにのみ流通系ICカードが導入されている。

## 観光需要等の回復に向けた支援強化について

### 《提案・要望の内容》

- 新型コロナウイルス感染症により壊滅的打撃を受けた観光産業の需要回復に向け、1月末が期限の「Go To トラベル」キャンペーンを期間延長し令和3年度も継続するとともに、地域が実施する取組に対する支援を強化すること。
- 宿泊施設、観光事業者等における感染症対策や高付加価値化、新たなビジネス展開の実施に対して幅広くかつ手厚く支援を行うこと。
- 県内空港・港湾では、国内線や国際線、クルーズ船等の就航が縮小していることから、これらの復活に向けた後押しを行うとともに、航空路線の着陸料などへの積極的な支援を行うこと。

### <参考>

#### 1 鳥取県における宿泊・観光業の現状

9月下旬のシルバーウィークには、前年を上回る人出で県内各地の観光地が久しぶりに賑わいを取り戻した。10月1日のGo To トラベルの東京追加、地域共通クーポンの配布開始等もあり、宿泊者数も戻りつつある状況であるが、上半期の影響を払しょくするまでには至っていない。

⇒ 宿泊施設の上半期の売上高は、対前年比で38%

#### <宿泊施設・観光施設の実績（対前年同月比（%））>

区分	上半期の状況		
	7月実績	8月実績	9月実績
宿泊施設	58%	57%	73%
主要観光地の入込	37%	28%	57%

※4～6月は、やむを得ず休館としていた宿泊施設がある。

#### 2 鳥取県における観光需要回復に向けた取組

##### (1) 「安心観光・飲食エリア」の創出

地域全体で徹底した感染拡大予防対策を実施し、利用者が安心して観光や飲食を満喫していただけるエリアを創出する取組を実施。

ア 鳥取砂丘エリア（23店舗）・・・8/31協定締結、10/3宣言実施

イ 大山寺エリア（33店舗）・・・8/31協定締結、9/28宣言実施

ウ 皆生温泉エリア（47店舗）、はわい・東郷温泉エリア（41店舗）、若桜氷ノ山エリア（18店舗）は、10/30協定締結し、今後宣言予定。

##### (2) 蟹取県ウエルカニキャンペーン（令和2年7月13日～令和3年2月28日）

対象の宿泊施設に泊まって応募すると、鳥取の旬のカニが毎月抽選で100名様に当たる。（総計700名）

・首都圏メディア発表会（11月予定）

日本全国に向け「鳥取のカニを食べて蟹バレ」とエールを贈るとともに、県産品消費拡大のPR（カニ、星空米などの秋の味覚）を行う。

##### (3) 秋旅とっとりドライブキャンペーン（令和2年9月19日～11月8日）

マイカー利用で県内の対象施設（60施設）に宿泊の方7,000組限定でガソリン給油2,000円クーポンと観光施設の無料券を提供。

##### (4) 「うっとり鳥取」キャンペーン（令和2年9月25日～令和3年3月31日）

ANAと連携し、インフルエンサーによる観光地の魅力紹介や「グルメ紀行ボックス・鳥取」販売に合わせ、蟹などの食材の紹介やプレゼントキャンペーンを実施。

### 3 鳥取県内の国内航空路線の現状

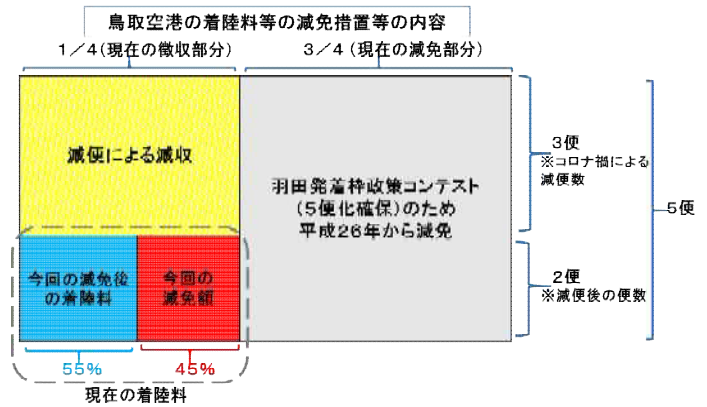
#### (1) 県内空港の国内定期便路線（ANA 東京便）利用実績（対前年同月比（%））

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
鳥取空港	7.2	4.7	12.9	20.8	17.9	25.2
米子空港	8.3	4.6	12.5	18.8	17.7	24.2

#### (2) 着陸料等の減免について

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている航空ネットワーク維持のため、国土交通省が、令和2年8月から令和3年2月分まで、国管理空港の着陸料及び停留料を一律45%減免している。同時に、地方管理空港においても同様の措置を要請されており、各地方自治体が対応を検討中。

→当該要請に基づき着陸料を減免する場合、運営主体の収益が圧迫されることから、当該減免額に対する積極的支援が必要。



### 4 国際線着陸料等への支援（訪日誘客支援空港）

令和2年度末までとなっている訪日誘客支援空港の制度を継続するとともに対象空港を拡大するなどし、地方空港が取り組む国際航空路線の拡充に対する取組を積極的に支援いただきたい。（令和2年3月に実施された訪日誘客支援空港追加募集に鳥取砂丘コナン空港が応募済）

#### <国際航空便利用実績>

区分	航空会社 船社	旅客数（人）		現在の状況
		令和元年度	平成30年度	
米子・ソウル路線	エアソウル	30,746	73,041	R1.10.1～非運航
米子・香港路線	香港航空	29,167	30,867	R2.2.18～欠航
米子・上海路線	上海吉祥航空	1,363	—	R2.1.11 新規就航 R2.2.11～欠航

#### <訪日誘客支援空港（拡大支援型）による支援拡充（例）>

対象	支援項目	現行支援	拡充支援（案）
国管理空港	新規就航等経費（グラント・ハンドリング経費等への補助）	国 1/3、県 1/3、航空会社 1/3 最大3年間	国 1/2、県 1/2 運航再開後5年間
地方管理空港	国際線着陸料への補助	国 1/3、県 1/3、航空会社 1/3 最大3年間	国 1/2、県 1/2 運航再開後5年間

### 5 港湾「境港」のクルーズ船の状況

境港のクルーズ船の寄港は、令和元年度の寄港回数は53回であり、平成29年度以降3年連続で乗客数が6万人を超えるなど堅調に推移している。また、竹内南地区に新たな貨客船ターミナルである「境夢みなとターミナル」を整備し、令和2年4月から供用を開始しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、いまだにクルーズ船は寄港していない。

11月からの日本船社のクルーズ再開に向けて新型コロナウイルス感染拡大を防止するための「境港クルーズ船受入マニュアル」を策定するとともに、受入側でも周辺観光地の合意を得るとともに、独自にサーマルカメラを整備するなど、日本船の受入体制を整え、船社に対して寄港を働きかけている状況。

# 高速道路ネットワークの整備促進及び暫定2車線の早期解消について

## 《提案・要望の内容》

### 【高速道路ネットワークの整備促進】

新型コロナウイルス感染症の影響下においても物流を途絶させることなく国民の生活を支える上で、また、近年頻発化・激甚化する自然災害が相次ぐ中で防災・減災・国土強靱化を強力に推し進める上で、高速道路ネットワークの重要性が改めて浮き彫りとなっている。さらに、地方にとっては、急速に進む人口減少や新型コロナウイルス感染症拡大により、東京一極集中から多核連携型社会の実現に向けて、新たな生活様式に対応した活力のある豊かで安心な地域社会の実現を目指す取り組みを着実に進める上でも、その基礎的社会インフラとして必要不可欠な高速道路ネットワークの早期整備が急がれている。

特に、本県として、未だに事業化に至っていない米子・境港間の高速道路や山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）の早期事業化と、事業中の山陰道（北条道路）及び山陰近畿自動車道（岩美道路）への重点投資による早期完成を図り、高速道路ネットワークのミッシングリンクを一刻も早く解消することを強く要望する。

- 米子・境港間の高速道路の早期事業化
- 山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）の早期事業化
- 山陰道（北条道路）の早期完成
- 鳥取自動車道（志戸坂峠防災事業）の整備促進
- 山陰近畿自動車道（岩美道路）の整備促進（令和一桁前半完成）
- 地域高規格道路「北条湯原道路」及び「江府三次道路」の整備促進

### 【高速道路の暫定2車線の早期解消】

県内の高速道路は一部の付加車線を除き全て暫定2車線であり、災害や事故等による長期間に及ぶネットワークの寸断や正面衝突による重大事故の発生リスクが高く、高速道路が本来有する安全性・信頼性に大きな課題を有している。特に、平成29年豪雪で発生した大規模な立往生や長時間の通行止めは、地域経済や住民生活に深刻な影響を及ぼしたところである。

昨年9月に策定された「高速道路における安全・安心基本計画」において、米子自動車道の4区間が4車線化の優先整備区間に選定され、そのうち特に課題が多い県境部（蒜山IC～江府IC間：約4.7km）がこのたび事業化され、全線4車線化に向けて動き出したところであるが、災害に強く安全・安心な高速道路ネットワークを一刻も早く構築するためにも、米子自動車道で事業化されなかった区間の4車線化の早期事業化と事業中区間の早期完成について強く要望する。また、鳥取自動車道や山陰道においても、整備中の付加車線の早期完成と更なる付加車線設置等による暫定2車線の早期解消を強く要望する。

- 米子自動車道の早期全線4車線化
- 山陰道（米子道路）の付加車線の早期完成
- 鳥取自動車道の整備中の付加車線の早期完成
- 県内高速道路の暫定2車線区間の早期解消及び当面の対策としてのワイヤロープの早期設置

## ■県内高速道路の整備状況

(単位:km)

路線名	計画延長	整備状況				4車線化の状況			
		平成30年度末		令和元年度末		4車線区間延長			
		供用延長	供用率	供用延長	供用率	供用延長	整備率	供用延長	整備率
山陰道	88.0	57.0	64.8%	74.5	84.7%	0	0.0%	8.5	9.7%
鳥取自動車道	38.4	38.4	100.0%	38.4	100.0%	0	0.0%	4.2	10.9%
米子自動車道	48.2	27.2	56.4%	27.2	56.4%	0	0.0%	8.2	17.0%
合計	174.6	122.6	70.2% 【43位】	140.1	80.2% 【36位】	0	0.0%	20.9	12.0% ※付加車線延長 /計画延長
(参考) 全国平均			84.0%		84.6				

## ■高速道路整備と連携しストック効果を一層高めるための地域プロジェクト

高速道路ネットワークの整備促進に合わせ、そのストック効果を最大限に地方創生に結び付けるため、県・市町村が様々な創意工夫によるプロジェクトを展開している。

### ○工業団地の整備

- 高速道路ネットワークの整備促進を見据え、沿線の自治体と連携し企業立地促進のための工業団地を確保。  
分譲中：14箇所　準備中：3箇所　未買収であるが提供可能として確保した箇所：6箇所

### ○移住者の基本目標（令和6年度までに12,500人）に向けた戦略の強化

- 令和元年度の鳥取県への移住者は過去最多の2,169人（速報値）

### ○融資制度の創設などによる県外企業の誘致促進及び県内企業の新増設の促進

- 県外企業の誘致　90社（5,809名の雇用を計画）
- 県内企業の新増設　307社（H21～R1：11年間の実績）

### ○県内観光の充実化

- 高速道路ネットワークの整備促進と港湾・空港の機能強化を連携させ広域周遊観光を充実化
  - ◇ 境港竹内南地区貨客船ターミナル完成
  - ◇ 令和2年3月22日にとっとり横断サイクリングルート（愛称：鳥取うみなみロード）が、白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースの全線開通をもって完成。

# 北東アジアゲートウェイ「境港」及び「鳥取港」の機能強化について

## 《提案・要望の内容》

### 【境港】

○物流・人流の新たな拠点となる「竹内南地区貨客船ターミナル」が、令和2年4月に供用を開始し、北東アジアゲートウェイ境港の新たな拠点施設として、新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の寄港が不透明な状況においても、官民が連携して観光や産業振興など地域活性化に取り組んでいる。引き続き、我が国の「豊かな暮らしの礎となる地域づくり」や「国土強靱化」を推進し、日本海国土軸を形成するため、同港の機能強化に向けて県と一体となって取り組むこと。

- ・クルーズ船の寄港再開に向けて、国によるクルーズの安全・安心の確保に係る環境整備を推進すること。
- ・山陰地域の物流環境改善及び地域経済の活性化を図るため、国内RORO船の定期航路の境港寄港の実現など日本海側の航路拡充を一層推進すること。
- ・ふ頭用地や荷役機能の不足等の諸課題に対応する機能強化に向けて、令和2年度の港湾計画改訂について、引き続き、県と一体となって取り組むとともに、機能強化に必要な予算を確保すること。

### 【鳥取港】

○地方創生の切り札である産業と観光の振興を図るため、物流・人流の拠点である鳥取港の機能強化に向けて、県と一体となって取り組むこと。

- ・航路埋塞や港内静穏度の不足等の諸課題を解決する抜本的対策となる直轄事業の防波堤整備について、令和3年度に確実に着手できる予算を確保すること。

## <参考>

### 【境港】

- (1) 令和2年9月に「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ」、国内クルーズを対象とした「クルーズ船及び受入港の感染症対策に関するガイドライン」が公表され、境港においても「境港クルーズ船受入マニュアル」を策定し国内クルーズの受入体制を整えている。引き続き国においては、再開に向けてクルーズを安心して楽しめる環境整備を推進すること。
- (2) これまでトライアル輸送を実施するなど定期寄港に向け官民連携して取り組む中、平成31年4月から国内RORO船の新規航路(敦賀港～博多港)が開設されたものの、山陰地方への寄港はないため海上輸送網の空白区間となっており、境港寄港の実現など日本海側の航路拡充を一層推進すること。

・平成27年7月に産学官による「境港流通プラットホーム協議会」を設立し、北海道、九州方面へのトライアル輸送の実施など積極的に取り組んでいる。

平成27年12月	SEA&RAIL 一貫輸送(北九州港～境港)
平成28年6月	既存航路延伸(苫小牧港～敦賀港～境港)
平成28年12月	既存航路延伸(東京港～博多港～境港)
平成29年7月	既存航路延伸(苫小牧港～敦賀港～境港)
平成30年2、3、6、7月	既存航路延伸(苫小牧港～敦賀港～境港)

- (3) 以下の課題解決に向けた令和2年度の港湾計画改訂について、引き続き県と一体となって取り組むこと。

#### 課題 船舶の大型化や取扱貨物量の増大による岸壁、ふ頭用地の不足

- ・境港に入港する外港船舶については平成20年から平成29年の10年間で一隻当たりの総トン数が約2倍(H20:8千トン→H29:16千トン)に増進している。
- ・新規コンテナ航路が就航する等、輸送航路の拡充が進む一方で、これに伴うコンテナ貨物の増加や令和3年に試運転を開始予定のバイオマス発電の燃料輸送等に伴う取扱い貨物の増加(+約40万トン/年)に対応する岸壁やふ頭用地が不足している。

## 【鳥取港】

○以下の課題解決に向けた令和2年度の港湾計画改訂については、国の技術的支援を受けて11月交通政策審議会港湾分科会に諮る予定。

### 課題① 航路埋塞による入港制限により企業活動に支障が発生

- ・毎年、秋から春先にかけて冬季風浪等に伴う土砂堆積により航路が埋塞(年間浚渫経費8千万円以上)している。さらに、平成29年の台風18、21号、平成30年の7月豪雨、令和元年の台風19号、令和2年の4月豪雨の異常気象に伴い4年連続で航路が埋没している。
- ・背後企業の生産活動に欠かせないバイオマス発電の燃料となるPKSを輸入する貨物船が入港できず、他港に陸揚して喫水調整後に入港するなどの入港制限が度々発生している。

### 課題② 港内静穏度の不足が地域産業に影響

- ・港内静穏度が十分でなく係留中の貨物船の係留索が度々破断する事態が発生。
- ・平成29年の台風21号では係留中の沖合底引網漁船が大きく動揺し、船舶・岸壁に損傷が発生。

#### ＜課題解決に向けた抜本的対策＞

- ・主要航路の切替(千代航路から西浜航路)
- ・千代地区に船舶の大型化に対応した新岸壁・ふ頭用地の整備

○航路埋塞や港内静穏度の不足の抜本的対策となる、直轄事業の第1防波堤(西)の延伸整備について、令和3年度に確実に着手できる予算を確保すること。